

キャラクター名  
桐島 亮

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ キュマイラ		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	32	%
出自	資産家	経験	大成功	邂逅	戸間 紬	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	39
肉体	5	1	3			9	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	1	0	0			1	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
羽衣 未散	P 好意	N 不安		
弓削 有紀菜	P 信頼	N 不快感		
メモル	P 親近感	N 隔意		
戸間 紬	P 信頼	N 嫌気		
六道 日	P 信頼	N 隔意		
ナイアガラムンム	P	N 敵愾心		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:キュマイラ	3	2						
効果:								
完全獣化	3	6	マイナー		自身			
効果:	素手のみ装備になる代わりに肉体参照の全ての判定ダイス+LV×2個							
破壊の爪	1	3	マイナー		自身			
効果:	素手のデータ変更							
イオノクラフト	1	1	マイナー		自身			
効果:	飛行状態で戦闘移動。移動距離を+LV×2mする							
バリアクラッカー	1	4	メジャー		-		80↑	
効果:	この攻撃に対してガードを行えない。カバーリングしてもガードでダメージ算出できない。装甲無視。1シナリオLV回							
獣の力	3	2	メジャー					
効果:	このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃のダイスを+LV×2							
人間発電機	★	-	メジャー	至近	単体	自動成功	-	
効果:	通電していない機械を動かせる							
獣の直感	★	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-	
効果:	天候や地震などを予測可能							
猫の瞳	★	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-	
効果:	暗闇を見通せる							
鋭敏感覚	★	-	メジャー	-	-	自動成功	-	
効果:	周囲の状況変化に敏感、あるいはより広く探索できる。							
ショート	★	-	メジャーアクション	視界	効果参照	自動成功	-	
効果:	電源を必要とする機会を一つ故障もしくは破壊する。							
効果:								
効果:								
効果:								

「ガキだからって舐めんじゃねえ……こちとら地獄見て生きちゃいねえんだよ!!」  
「欲しい……もっと……もっと力を!!」  
「……未散……お前は。お前だけは絶対に、俺が……」

脅威を前に、父も母も、姉も守れず散っていき。己の身すら守れなかった現実。  
少年は渴望する。何もかもをねじ伏せる力を。  
求めて、集めて。けれど彼の心に残るは一人の想い人。  
力と愛への想いを翼に、彼はどこへ羽ばたくのだろう。

【桐島 亮】  
祇嶋村に住む高校二年生。  
学力の成績は可もなく不可もなくといった程度だが、親に頼んで通っている極真空手の腕はなかなかのもの。  
人付き合いは苦手らしくつつけんごんな態度を取りがちだが、面倒見はいいらしい。  
幼いころにジャームによって家族を失った過去を持つ。自分一人が隠れている中、母、父、姉がゆっくりと捕食される様を見せつけられ、人と己の無力さをまざまざと見せつけられることとなった。  
それゆえにトラウマを抱えており、ジャームへの恐怖と、彼らを超える力を渴望している。

家族を失ったあとは戸間紬によって救われ、彼女の立ちあげた孤児救済団体によって里親（パトロン）に育てられている。  
裕福な家庭に拾ってもらったおかげで不自由はしていないが、その一方でジャームに対する恐怖は消えていない。  
羽衣 未散にはそんな折、転校した祇嶋村にて出会った。  
当初はひどく口数が少なくどん臭い相手程度しか見ていなかったが、付き合いを続けるうちに友情以上の感情を抱く。  
その想いがこれからどう変わるかは、本人にも誰にもわからない。